

令和7年度 日向市立細島小学校 自己評価及び学校関係者評価

学校経営ビジョン：すべては、細島小の子どもたちと細島地区の人々のために 【評価基準 4段階評価 4…期待以上 3…期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

重点指導項目	目標及び取組 (○…目標 数字…取組)	評価内容及び結果	自己評価	改善策	委員評価	学校運営協議会での意見や回答など
命を大切にする心情と柔軟力の育成	1 特別支援教育を基盤に、道徳教育の充実、日々の児童との交流により、望ましい人間関係づくりと命と人権を大切にする心情と態度を育てる。	1 児童の居場所づくりの充実 (1) 道徳科の充実と人権感覚の育成 (異なる立場の尊重、様々な人との交流、人権教育研修会、集会活動、無言清掃「異学年」など) (2) ポジティブな態度の育成 (スマーズスタート、ポジティブな木) 2 いじめの未然防止と迅速対応 (1) 悩みアンケートの実施やその後教育相談、はぐくみサポート会議の充実によりいじめの早期発見に努める。 (細島小さきずなプラン「学校いじめ防止基本方針」)	4	1 児童の居場所づくりの充実 「自分がされて嫌なことは、友達にしていない。」 (結果)児童・3.5 保護者・3.2 地域・3.4 職員・3.4 毎月悩みアンケート、教育相談の実施により、いじめの早期発見が大きな事態になる前に対応できた。 また、はぐくみサポート会議で、全職員で共通理解を図り、共通実践できた。 【アンケート質問項目】 家族や友達から大切にされている。 (結果)児童・3.9 保護者・3.7 地域・4.0 職員・3.5 【アンケート質問項目】 友達に優しくできる。 (結果)児童・3.4 保護者・3.5 地域・3.6 職員・3.1 人権教育の研修会を通して、指導改善・工夫等できた。また、全集会等で繰り返し、感謝や思いやりの大切さを指導した。	4	○下校後、地域で遊んでいて災害にあったときの指導は行っているか? →1学期に、下校中に地区担当職員と避難場所の確認し、日向市防災推進課の方から指導を受けている。 ○日頃の交通安全の指導はどうなっているか? →1学期に日向警察署の交通安全教室を行っている。 また、日頃の下校指導で交通安全について、学級担任が指導している。 ○毎月の避難訓練を実施することは素晴らしい。 ○高台に避難する際、いろいろな避難する道がある。地域と協力して、避難道の在り方を考えいくことが必要である。
	2 日常的な防災学習の充実により、児童及び職員の危機予知力や危機回避力を育てる。	1 防災学習と連動した避難訓練 (1) 「地震・津波」避難訓練の毎月実施（様々な状況を想定、セーフティプロモーションスクールの取組） (2) 「火災」避難訓練の実施、外部機関と招いた不審者侵入対応研修の実施		1 防災学習と連動した避難訓練 毎月避難訓練を実施するとともに、継続的に日向市防災課等の関係機関と連携を図る。 セーフティプロモーションスクールとして、防災学習を見直し、充実を図る。		
確かな学力と健康新体の育成	1 児童の実態に応じた柔軟な学習指導過程ときめ細かな指導により、児童に分かる喜びや学ぶ楽しさを実感させる。	1 主体的な学びを促す授業改善 (1) 富中校区ブロック研修会や三校合同主題研究の実施（日知屋小、日知屋東小、富島中） (2) 学習規律の徹底と教育環境整備（学習の約束、教室内提示物の統一） (3) 花まる先生の講師的活用 (4) 読書活動の推進（図書主任、図書司書による図書館の環境整備） 2 ICTによる個別学習の充実 (1) タブレットドリル、ロイロノートの活用	3	1 主体的な学びを促す授業改善 主題研修を工夫し、ひなたの学びを意識し、授業改善を目指す。また、基礎基本の定着の時間を確保する。問題を読み取る力を高めるため、音読指導の工夫を図る。家庭と協力し、読書活動や家庭学習の充実を図る。 2 ICTによる個別学習の充実 授業での活用場面を増やすとともに、情報モラルの指導を充実する。	3	○ タブレットの活用はどうなっているのか? →日頃からタブレットを活用している。家庭で持ち帰りを11月から始めている。 ○ タブレットではどんなことをしているのか。 一校舎では、調べ学習に活用している。家庭では宿題として、タブレットドリルを行っている。デジタル読書の準備も進めている。また、デジタルのよさとアナログのよさを生かした指導を行っている。 ○ 運動会では、中学生や高校生の参加をするとともと地域の運動会として盛り上がるのではないか。 一校舎としては、依頼を呼びかけ、場を提供することは可能である。ただ、実際の高校生への指導は外部の団体にお願いしたい。
	2 教科体育と体育的行事の充実、保健衛生指導の充実により、児童に健康な生活習慣と実践力を育てる。	1 行事と関連した体育科の充実 (1) 体育的行事の推進（運動会、ロードレース大会の実施） (2) 体育科指導方法の工夫・改善（サークル運動、ピョンピョン跳縄、ランラン月間） 2 保健衛生指導と食育の推進 (1) 感染症予防の徹底 (2) 健康で規則正しい生活習慣の徹底 (3) 給食指導の充実、弁当日の実施		1 行事と関連した体育科の充実 運動会、ロードレース大会の学校行事を通して、運動意欲を高める。また、体育科指導方法の工夫やサークルトレーニングを行い、体力の向上を図る。 2 保健衛生指導と食育の推進 家庭と協力し、毎朝の「は・て・つ・ぽ」の確認とエチケット検査（手洗い、うがい、歯磨） (結果)児童・3.3 保護者・3.0 職員・3.0 毎朝の「は・て・つ・ぽ」の確認とエチケット検査で意識付けが図られた。インフルエンザなどの感染症対策を継続的に行なった。		
コミュニティ・スクールの推進	1 地域人材を活用した学習を取り入れることにより、児童に地域を愛し積極的に交流を図ろうとする態度を育てる。 2 地域学校協働活動行事を意図的、計画的に教育課程に位置付けることにより、コミュニティ・スクールの推進に取り組む。	○公民館とのタイアップ ○学校支援ボランティアの充実（ボランティアの募集、打ち合わせの工夫） ○社会に開かれた教育課程の編成（公民館講座への児童の参加「魚さばき」など） ○カリキュラムマネジメントの推進（細島版コミュニティ・スクールの実現） ○関係機関との連携（細島区長会、HOSOSHIMA まちづくり協議会、民生委員連絡協議会との連携強化）	4	今後も各教科等の年間指導計画に、地域人材を活用したふるさと学習を位置付け、学習支援ボランティアの活用をしていく。 また、細島区長会やHOSOSHIMA まちづくり協議会と連携し、ふれあい学習や細島フェスティバルの工夫・改善を行い、地或学校協働活動の充実を図り、細島版コミュニティ・スクールを目指すとともに、細島が好きな児童を育成する。	4	○ みなと祭りなどの地域行事と関連があり、地域と密着した教育ができる。 ○ 公民館利用者など多くの方に、学習発表会など子どもの元気張っている様子を見てもらいたい。 ○ 地域の人々の縦と横のつながりがあり、子どもたちも地域の方から、学んでいる。

	項目	結果	自己評価	改善策	委員評価	学校運営協議会での意見
小中一貫教育に関する評議会	<p>1 グランドデザインは、自校の教職員で共通理解できている。</p> <p>2 グランドデザインは、家庭や地域に理解されている。</p> <p>3 めざす児童生徒像実現のために、富島中学校内の学校で共通実践が進められている。</p> <p>4 小中一貫教育の取組により、めざす児童生徒像の姿に近づいている。</p>	富島中学校区グランドデザインの見直しを行った。また、富島中学校区小中合同研修会を実施し、授業力向上を図った。今後、富島中学校区のグランドデザインの周知を図っていく必要がある。	3	富島中学校区でグランドデザインを見直し、共通実践事項を確認する。PTA 総会や学校便りで保護者へ示し、周知を図る。授業力向上プロジェクトや富中プロジェクト研修を通して、小中連携を継続していく。	3	<ul style="list-style-type: none"> ○富島中学校区豊かな実践会議での児童の発表を多くの人に聞いてもらえるように工夫する。 ○富中校区で挨拶の大切さを指導し、共通実践する。